

人生には
「気づくタイミング」
がある



写真のイケメンは、太田東西のご子息です！（笑）

漢方業界ではメジャーな製薬会社に入社して、6月から営業に回っています。
それに伴い、東京から神奈川に引っ越しての一人暮らし。
慣れない土地で、新人として社会人として、よく頑張っていると思います。

その息子から、5月下旬、突然電話がありました。

「今、高速道路で事故に遭った・・・」

遠く離れる親としては、まさに
「え~~~~っ！！！！」

聞けば、一車線を走行中、二車線を走っていた車が進入して来ての接触事故だったようで、幸いなことにケガはありませんでした。
過失割合は2：8で相手の不注意が主な原因だったようですが、その日は初めて会社の車を運転したそうで、本人かなり凹んでいました。
接触した瞬間、「あっ、死ぬかも…」の衝撃だったそうで。

しかし父は驚きながらも、プラス思考します！
今回は後部座席に会社の上司が同乗していたこと、相手が良識ある年配の大人だったこと（0：10で処理してくれたそう）、自分の車ではなく、会社の車だったこと。事故の処理をどうするか、警察を呼んだりして学べたことなど。

そして、何よりも
「初日の事故」というのがいい！

この事故は不運不吉なことではなく、きっと神仏・ご先祖の
「おぼしめし」なのだ！

そう思い変えて、息子にアドバイスしました。

「今年でおまえは運転免許を取って4年になるわけだが、社会人としては1年目。若葉マークの初心者だよな。今回のアクシデントは運転も若葉マークで気をつけなさい、そういうことではないかな。
田舎と違って、都心は車の量が多くてそれだけ事故も多いんだから」

知らせを受けて、
「初日からこんな事故に遭って、ついてないな・・・」
「初日からこんなことで、この先、息子は大丈夫だろうか・・・」
とマイナスに思うか、

「初日でよかった！」
「初心忘れるべからずで、これからは注意するだろうから大丈夫！」
とプラスに思うか

親として子どもを心配するのは当然。
しかし親の心配が大きすぎると、子どもの不安はどんどん大きくなります。
「おまえ、これから先、大丈夫か？」子どもを不安にするのではなく
「初日に経験できてよかったな、これから気をつけて！」
子どもの失敗や苦い体験には、明るく励ましてあげたいものですね。

前兆はあったのです・・・

息子の帰省中の運転は、若気の至りで荒かった。

その都度、助手席に乗っている母親から、「もっとゆっくり曲がりなさい！」

「スピード出し過ぎ！」「急発進し過ぎよ！」「急ブレーキやめて！」

教習所指導員も真っ青の、ダメ出しが飛んでおりました（笑）

そんな息子を案じ、母はお寺のお守りを持たせようとしたのですが
息子は置いて行ってしまいました（本人、忘れたと言っていました...）

今、息子が運転する車には
よりどりみどり
カラフルなお守りが
多数ぶら下がっているようです（笑）

会社のほうからも、霊験あらたか川崎大師に
車のお祓いに行くように言われたそうで。
事故のおかげで、お祓いの経験もできました。



人生には「気づくタイミング」があります。

息子は、事故をしたことによって安全運転を再認識し、二度と事故に遭わないための「お守りの価値」、このタイミングで気づいたわけです。

「お守り」「お祓い」の効果はあるでしょう。でも肝心なことは「お祓いしてもらったから、お守り下げているから、もう大丈夫！」ではなく、お守りを目にするたびに「今日も一日、安全運転で注意していくぞ~！」
自分の意識を変えること、それが一番大切です。

これは病気にも言えます。

「素晴らしい太田東西薬局の漢方の先生にかかっているから大丈夫！」
残念ですが、それでは治らないんです（笑）

信じる気持ちは大切。でも、最後の結果は「本人次第」です。

事故に遭わないために、四方よく確認して運転する。

早く健康になるために、薬は指示どおりきちんと服用する。

もちろんなことですが、それ以上に大切なことは「夜更かしをしない」「規則正しい生活をする」といった、自分の日頃の行いに目を向け注意することです。

それからの息子は22時には就寝しているそうです。おりこうちゃんね！

「事故管理は自己管理から」だもんね！！

太田東西ブログ

ほぼ毎日ネットで更新中！

自分を大切に作る時期

2014.6.25

「今年は次から次に病気ばかりして・・・」
そう悲観するお客様がいます

それはですね、「今は自分のことを一番に考えて、人のことはいいから
自分を一番に大切にしてください！」という神仏のお告げなんですよ(笑)

人生の中でそういう時期って、必ずあると思います。

それに気づかない、自分の身体の声に素直に従わない。

そういう人が大病するし、短命で終わると思うのです。

何を隠そう、私も今は「自分を優先する時期」のようです。

「体調がおかしい・・・ひょっとして菌血症かもしれない」
そう直感して歯科医院に行ったところ
かなり重症でした・・・
昨日、2時間かけて抜歯して4針縫いました

かなりの大きさの病巣で歯科医師さんも驚いていました
もう少しで大学病院への紹介になっていたそうです・・・

「自分を一番に大切に作る時期」

そう割り切って、仕事より自分を大切にします！

「老病死」は私も例外ではありませんから

たまには

「患者」にもならないとね！(笑)

